

# 青年部通信

9月4日(月)東広島にある広島県立障害者リハビリテーションセンター医療型障害児入所施設「若草療育園」にてボランティア活動を行いました。



現在国道2号線はバイパスが延長されており、市内から西条まで驚きの速さで到着しました。さすがに早すぎたので令和四年7月に新しく開業した道の駅「西条のん太の酒蔵」を見学しました。木の香り漂う真新しい道の駅で、子供スペースも充実し、ペットの遊び場・EV給電設備・コインシャワーなども完備。酒蔵というだけあってお酒の品揃えが豊富で、晩酌用に1本選んで行きたかったのですが、炎天下の車内



に放置するのは良くないと思い、断念しました。寄り道したので、本線に戻ります。

今回のボランティアは、施設のコロナ対策も兼ねて同時受け入れは6名までの要望だったのですが、青年部員1名が前日になって発熱したと連絡してきたので、大事を取って欠席してもらい5名でのボランティア活動になりました。園に到着すると入室前に控室に通され、検温に問診表の記入と、しっかり防疫体制を布いていたので、発熱した彼は来なくて良かったねと苦笑いしました。実際入室してみて感じたのですが、コロナに罹患したからといって障害を持つ子供達を隔離することは困難な事であると。歩いて椅子に座れる子供もいましたが、車椅子・寝たきりの子供は理髪中はサポートが必要なので、施設の方が常に手を貸し気を配ってくださり、右へ左へ忙しく動いておられました。我々も突然動く子供らに気が抜けません。中には三人がかりで散髪した子供もいました。

当日はNHKから取材に来てくださり、我々が青年部長がインタビューに受け応えしていました。以前の似島ボランティアの取材インタビューでは、夕方のニュースで一言も使っても



らえなかった経験があったので、今年は気合いを入れて居酒屋で考えたそうです。その甲斐あって部長のインタビューがしっかり放送されたので、我々感無量です。

ボランティア終了後は労を労って八本松にあるハンバーガー屋「グレイビージャック」にて、顔ほどのサイズのデカイハンバーガーを堪能して帰りました。あまりのボリュームにため息吐きながら食べていました。

